

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 三菱ガス化学株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2三菱ビル
----	---------------------------	----	---

本票作成	部署名：三菱ガス化学株式会社 水島工場 研究技術部
------	---------------------------

主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業
-------	-------	----	----------

事業の概要	キシレン類の異性化・分離及びその誘導体の製造。(キシレン類生産能力 630,000t)
-------	---

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	水島工場	倉敷市水島海岸通3-10

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数(②該当の場合) 台)
------------	--

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 26 )年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	434,396 t CO <sub>2</sub>	389,778 t CO <sub>2</sub>	412,676 t CO <sub>2</sub>

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 26 )年度排出量
	①	水島工場	389,778 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 22 年度	～	平成 26 年度	( 5 箇年度)
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 26 )年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	12.4 %	5.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 製造業として事業拡大等もあり、コントロールできる数値として生産数量を採用し、GHG排出量/生産数量=原単位で算出しています。	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 26 )年度	目標年度
		0.754 t CO <sub>2</sub> /( t )	<b>0.661</b> t CO <sub>2</sub> /( t )	0.716 t CO <sub>2</sub> /( t )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 26 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成26年度は、前年と比較し、生産数量が大幅に減少したことから温室効果ガスは、前年度を下回る結果となった。しかし、原単位基準においては、目標を達成したものの低負荷に起因する非効率な運転となった為、原単位は悪化傾向となった。省エネルギー活動は、継続して行っており、運転負荷が上がれば効果が現れるものと考えている。  
また、昨年は、省エネルギープロジェクトを実施し、省エネルギー案件の摘出を行った。今後数年かけて実施していく予定。

**【推進体制】**

工場のエネルギー管理体制にて、全社的なGHG削減目標／RC目標に基づく目標設定を行い、個々のテーマについてはTPM活動における省エネルギー（個別改善）において取り組んでいます。形骸化を打破し、継続的な省エネルギー活動とする為省エネルギープロジェクトを立ち上げ、今後実施すべき案件の摘出を行いました。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
水島工場	<p>主力製品のキシレン類の異性化・分離のプロセスに関しては、『省エネルギー化』のプロセスの検討しています。</p> <p>工場としては、装置稼働率が低迷する中、装置の省エネルギー化の個別改善を継続的に進めています。平成26年度は、テーマ毎積算で約12,100トン-CO2/年の削減を達成しました。（蒸気の有効活用、運転最適化等）</p> <p>また、現在取り組んでいるテーマとして、下記項目があります。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①ボイラー運転最適化（低負荷運転時の最適化）</li><li>②各製造課蒸気の有効利用（サーモコンプレッサーの導入、低負荷時の最適化）</li></ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--